

バセドウ病と診断された方へ

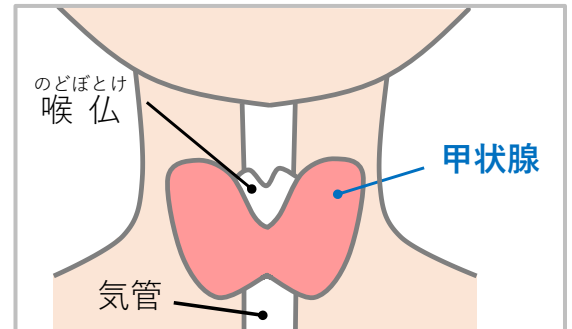


ご不明な点や不安なことが
ありましたら、お気軽に
ご相談ください

1. 甲状腺とは

甲状腺は、首の前側・喉仏のすぐ下にある幅約3 cm ほどの小さな臓器です。左右に羽を広げた蝶のような形をしており、気管を包むように位置しています。

この甲状腺で作られる**甲状腺ホルモン（FT3：遊離トリヨードサイロニン、FT4：遊離サイロキシシン）**は、体の代謝や体温の調節、成長や発達など、全身のさまざまな働きに深く関わっており、健康を維持するのに欠かせない重要な役割を担っています。

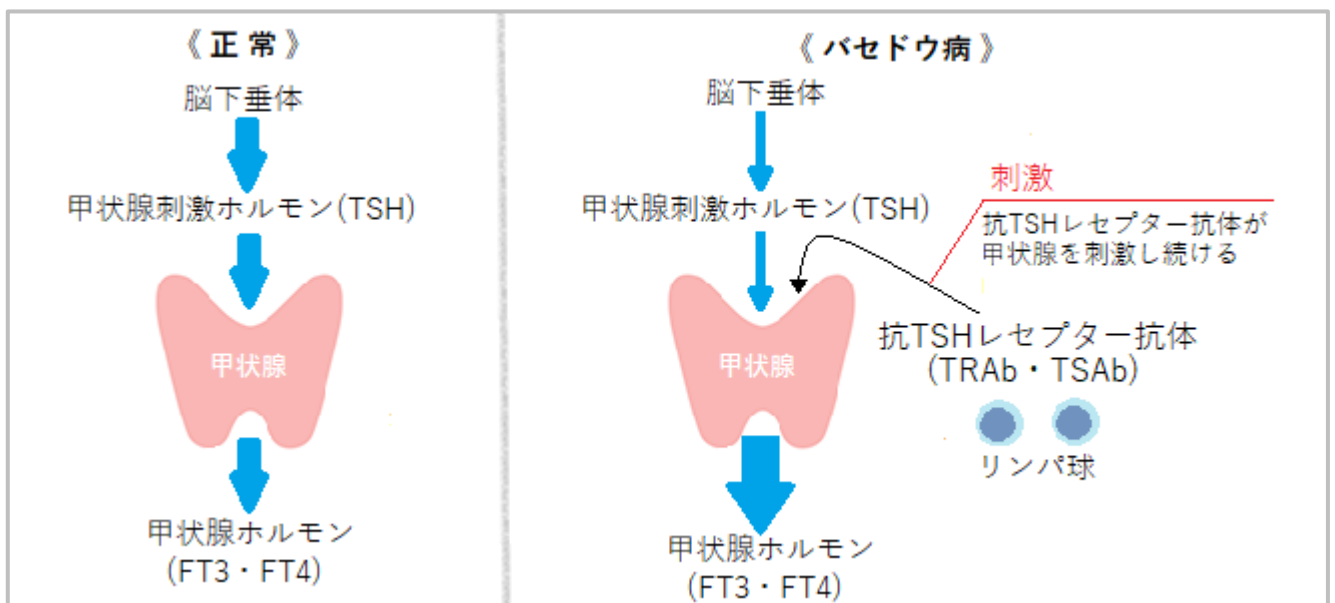


甲状腺ホルモンの量は、脳の下垂体から甲状腺へ分泌される**甲状腺刺激ホルモン（TSH）**の働きによって、本来は体の状態に合わせて適切に調整されています。

2. バセドウ病とは

バセドウ病は、**甲状腺ホルモンが過剰に分泌され、甲状腺の働きが亢進する自己免疫疾患**です。「**甲状腺機能亢進症**」（甲状腺ホルモンが多すぎる状態）の主な原因のひとつとされています。本来、細菌やウイルスなどから体を守る免疫システムに異常が生じ、自身の甲状腺組織を誤って“異物”と認識することで、過剰な免疫反応が引き起こされます。

バセドウ病では、免疫機能の中心を担う**リンパ球**（白血球の一種）が、甲状腺細胞表面の甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体に対し、自己抗体である**抗TSHレセプター抗体（TSHレセプター抗体：TRAb、甲状腺刺激抗体：TSAb）**を作り出します。これらの抗体は、TSHの代わりに受容体に結合し、甲状腺を継続的に刺激し続けます。その結果、甲状腺ホルモンが過剰に産生され、全身の代謝が異常に高まる状態となります。



3. バセドウ病の症状

甲状腺ホルモンが過剰に分泌されることで、全身の代謝が異常に活発になり、さまざまな症状が現れます。

- ・ **全身症状**：動悸・頻脈・息切れ、汗をかきやすい・暑がりになる、手の震え、体重減少、倦怠感、軟便・下痢
- ・ **精神症状**：イライラしやすい・落ち着かない
- ・ **その他**：バセドウ病眼症〔眼球突出、複視（物が二重に見える）などの目の症状〕
甲状腺腫（甲状腺の腫れ）、月経異常（女性） など



これらの症状は個人差があり、軽度で気づきにくい場合もあれば、日常生活に支障をきたすほど強く現れることもあります。特に**目の症状がある場合は**、甲状腺機能の改善だけでは十分に軽快しないことが多く、視力に影響を及ぼす可能性もあるため、**早期に専門の眼科での検査や治療を含めた連携診療が重要**です。

4. バセドウ病の治療

バセドウ病の治療法は、大きく分けて3種類あります。

	① 薬物療法	② アイトーブ治療 (放射性ヨウ素内服療法)	③ 手術療法
方法	抗甲状腺薬(甲状腺ホルモンの合成を抑える薬)を内服します。 ※抗甲状腺薬はMMIとPTUの2種類 MMI：メルカゾール PTU：チウラジール/プロパジール	アイトーブ(放射性ヨウ素)が入ったカプセルを内服し、甲状腺細胞を内部から破壊します。	外科的に甲状腺の一部または全てを切除します。
対象者	多くの方に適応可能 ・初めて治療を受ける方 ・甲状腺腫が小さい方 ・薬を規則的に飲める方 ※ただし、妊娠中・授乳中・小児は薬剤の種類の選択が必要	中高年者 ・薬で効果が得られにくい方、再発を繰り返す方、副作用が出た方 ・手術後に再発された方	若年者から中年者 ・薬で治らなかった方 ・早く確実に治したい方 ・長期間、定期的に通院困難な方 ・甲状腺腫が大きい方
向かない方	・薬で副作用が出る方 ・薬を飲んでも効果が得られにくい方	・妊娠中または妊娠の予定がある方 ・授乳中の方 ・18歳未満の方	・高齢者(65歳以上) ・ケロイド体質(傷あとが盛り上がりやすく、治りにくい体質)の方
利点	・診断当日から治療開始が可能 ・通院しながら治療できる	・治療効果が高く、再発しにくい ・治療期間が短い	・即効性がある ・再発しにくい
欠点	・治療期間が比較的長い(数年単位) ・副作用(かゆみ・薬疹、肝障害、無顆粒球症など)に注意が必要	・バセドウ病眼症が悪化することがある ・甲状腺機能低下症になる可能性 ※2 (70～80%、10年後は90%以上)	・入院が必要で、体への負担がある ・手術の傷あとが残る ・甲状腺機能低下症になる可能性 ※2 (部分切除:20～40%、全摘:100%)
寛解率・再発率	寛解率:30～50% ※1 (約2年間内服した場合) 再発率:30%以上	寛解率:80～90% 再発率:約10%	寛解率:約90% 再発率:約10%

※1 寛解率:治療後に薬なしで安定して過ごせる方の割合

※2 甲状腺機能低下症になった場合は、甲状腺ホルモン剤を内服すれば改善します。

ただし、生涯にわたって内服を続ける必要があります。